

平野中だより

令和6年7月1日

〈学校教育目標〉 ともに学び 挑み 夢を語る生徒

【合言葉】～ かがやきサイクルでレッツチャレンジ!～

蓮田市立平野中学校 TEL 048-766-9003

ホームページ <http://hiranojhs.o.oo7.jp>

Eメール j-hirano.hasuda@nifty.com

心のホット相談室 TEL&FAX 766-9393



「人生に無駄はない」

校長

3年生は6月13日から3日間、京都・奈良の修学旅行に行ってきました。例年より梅雨入りが遅れたこともあり、3日間とても良い天気の中、思う存分、古都の歴史や文化を味わうことができました。これまでの授業や事前学習で得た知識と照らし合わせながら、生徒たちが非常に興味深い様子で見学したりガイドさんの話を聴いたりしている姿が印象的でした。また、この3日間で私が特に感心したのが、生徒同士の仲の良さです。男女を問わず楽しそうに会話をしている姿や旅館で遊ぶ姿を見て、とても温かい気持ちになりました。



先月は、学校総合体育大会の地区予選が各種目で行われ、熱い戦いが繰り広げられました。本校の生徒は、どの種目でも、選手や応援の生徒がみんな心をつなげて、全力で試合に臨んでいました。その中で、男子ソフトテニス部が“団体優勝”という栄冠を手に入れました！7月に行われる県大会では、ぜひ、四地区の、そして平野中の代表として誇りをもち、胸を張って全力で戦うことを楽しんでほしいと思います。

平野中の生徒は、学校行事や部活動だけでなく、日常の授業にも本当に一生懸命取り組んでいます。教室を巡回すると、いつ見ても全員がしっかりと先生の話の聴いたり課題に取り組んだりしています。当たり前かもしれませんが、その当たり前がきちんとできるということが、実はとても素晴らしいことなのです。これからも大切にしていきたいと思います！

何事にも一生懸命な生徒たちを見ていると、ふと、私が以前父親から言われた言葉を思い出します。それは、私が大学を卒業し、まだ正式に教員になる前のことでした。私が、「自分はいろいろなことに興味をもち一生懸命に取り組んできたつもりだけれど、どれも中途半端になってしまった。何か一つに集中してもっと極めた方がよかったのだろうか…」という話を父にしたところ、父から返ってきたのは、「人生に無駄はない。」という答えでした。

「人生を山登りにたとえ、真っすぐ進むべき道を、迷って脇道へ入ってしまったとしよう。それは真っすぐの道より少し遠回りの道だ。しかし、そのお陰で、真っすぐ進んだときには見られない感動的な景色に出会ったり、美しい花に出会ったり、親切な人の心に出会うことがあるかも知れない。とすれば、真っすぐ進んだときにはできない貴重な体験をすることになる。だとしたら、その体験は後の人生に必ず役立つであろう。人生というものはそういうものだ。人生に無駄はないんだよ。その時を真剣に生きてさえいれば。」と。

その時はまだ、なんとなくしか理解できていませんでしたが、後に自分の教師人生を振り返ってみると、これまで力を注いできた多くの経験がことごとく役に立っていることに気付きました。たとえ直接的に生かされなかったとしても、いろいろなことに興味をもって取り組んでみるという経験は、人生の幅を広げ、心を豊かにすることにも繋がるのだと思いました。

生徒たちの様々な“頑張り”が、後に必ず生かされることを信じ、これからも一生懸命な姿を応援していきたいと思っています。